

# わがまち再発見!!

## シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

### 『ユネスコエコパーク』

「ユネスコエコパーク」は、ユネスコ（国連教育科学文化機関）が「人間と自然の共生をめざすモデル」となる地域を登録している制度で、世界的には「生物圏保存地域」と呼ばれています。

横浜国立大学は「人間と生物圏（MAB）計画委員会」の事務局を持ち、国内で登録のための仕事をしています。その事務局長である酒井暁子さんが、2月8日と9日に開催した「ユネスコエコパーク講演会」で、本制度について説明しましたので、その概要をお知らせします。

ユネスコエコパークは世界自然遺産より登録が容易であり、世界遺産が重視する原生自然や絶滅危惧種のみならず、里地里山や農村景観などの二次的景観も登録対象となります。「自然・文化の保全と地

域の持続的発展の両立」という基本理念は、日本の多様な土地利用の歴史に合致するもので、自然公園制度や文化財保護・天然記念物制度などの既存の自然・文化保護制度との融和性も強く、対馬も登録の素質が十分にありま

す。ユネスコエコパークの魅力は、国際的な発展可能性です。本計画は当初こそ科学的プログラム

の性格が強かったのですが、近年は「持続可能な発展」、「文化多様性」、「生物多様性」、「ESD（持続

可能な発展のための教育）など、国際的に優先度の高い政策を柔軟に取り入れていきます。対馬市も登録されれば、環境教育研修の誘致や森林認証に基づく高付加価値の木材供給、再生可能エネルギー基地の誘致など、地域振興のための多様な戦略手段を得ることにつながります。

ユネスコエコパークは、世界遺産ほど知名度が高くないため、世界遺産以上に各人が知恵を絞り、戦略性をもって地域の将来を考える必要があります。それは「価値を創造する」ことです。生物多様性

や文化多様性、環境教育、気候変動の緩和、持続可能な発展といった国際的な重要課題の解決にユネスコエコパークの果たす役割は大きいものがあります。

素晴らしい自然と文化を持つ対馬が、世界から注目される日は近いと言えます。



対馬の自然探訪会

### 4月の休館日

休館日 おはなし会

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

### つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

第145回芥川賞、直木賞受賞作品を貸出しています。

芥川賞：「道化師の蝶」円城 塔 / 著、「共喰い」田中慎弥 / 著  
直木賞：「蝸ノ記」葉室 麟 / 著

おはなし会は、4月21日（土）14:00から開催します。

みなさんのお越しをお待ちしています。

### 今月のおすすめ新着本

#### 『小学校へ行く前に』 岡崎 勝 / 監

子どもが小学校に入学する前や、入学してから実際にどんなことに不安を感じるか、どんなことで困るのか、それにどうやって向き合ったらよいかを解説。

#### 『宮本常一と芳賀日出男がある九州・昭和37年』 周防大島文化交流センター / 編

日本全国を旅して膨大な量の写真を撮影した、民俗学者・宮本常一。昭和37年に写真家・芳賀日出男とともに取材した種子島、大隈半島、球磨、岩岐、対馬、五島列島、阿蘇、姫島での人々の暮らしを写真とともにまとめる。

#### 『竜馬、明治をゆく』 里村 喬 / 著

坂本竜馬が一命をとりとめ、明治という新しい時代を奔走する姿を描いた興味尽きない歴史小説。慶応3年11月15日、京都近江屋で暗殺者に襲われた竜馬は重傷を負う。その後、五稜郭への戦いへと向かった竜馬の前に、榎本武揚が土方歳三らが立ちはだかるが...

#### 『絵本 すみれほいくえんの食育』 大西 規子 / 著

保育園の園児に「食」の大切さを教える「すみれ保育園」の取り組みに驚き、感動し、作った絵本。できることなら、小学校といわず幼時から食べ物を大切に感謝する気持ちを育てたい。その思いを形にした絵本である。

#### 『とっぴんしゃん(上・下)』 山本 一力 / 著

「よーい!」どんっ! 運動会が始まった! 門前仲町と冬木町、「技比べ」に勝つのはどっちだ? 江戸時代の子どもたちを描く、『毎日小学生新聞』掲載を書籍化。

#### 『スポーツなんでもくらべる図鑑』 大隈 廣明 / 監

陸上競技や球技、スポーツにまつわるさまざまな用具・施設の大きさ・重さを比較し、写真やイラストで紹介。